

日本生産性本部 主任経営コンサルタント 高橋 佑輔



(たかはし ゆうすけ)

1978年生まれ。秋田県出身。筑波大学大学院経営システム科学修了。演出家として全国で演劇活動に従事後、国会議員公設秘書、中小企業役員などを経て、日本生産性本部「経営コンサルタント養成講座」を修了し、現職。専門領域は経営戦略、マーケティング戦略、マーケティングリサーチ、データサイエンス、デザイン思考。主な実績に老舗旅館の経営改善、人材データ分析に基づく企業文化変容支援、市場反応データに基づく新商品開発、顧客インサイトに基づく新事業開発、観光地ブランドの再生およびマーケティング戦略策定など。中小企業診断士。経営学修士。「旅館・ホテル業の付加価値向上の為の科学的マーケティング手法の研究」で経済産業大臣賞(最優秀論文)受賞。

演劇的視点とサイエンスを大事にしている。

得意である、とか、武器である、とまで言えないのが情けない。

20代の私は、劇作家・演出家の平田オリザ氏が主宰する劇団に所属し、独自の演劇表現を構想していた。

演劇は「対話」で駆動する表現形式である。対話と会話の違いは「未知の事象」を主題とするか否かである。

演劇では未知の事象を巡って当事者がにじり寄りたり、すれ違ったり、反発したりする。未知の事象は容易に論理の網をくぐり抜け、思いもよらない不意打

ちで観客を喜ばせる。論理だけでは乗り越えられない問題にこそドラマがある。ここに演劇とビジネスの

アート×サイエンスの可能性

共通項を見る。ビジネスでは、市場と企業、あるいは組織と従業員の間に頻繁な対話が起こり、「未知」を乗り越えることが求められる。それはドラマである。マーケティングであれば、生活者自身が言語化できない思いを察知し、共感し、新しい価値提案のドラマが期待される。

劇の親和性は高いが、演劇をビジネスに生かす試みは限定的である。もったいない話で、「今まで気がつか

なかつた視点を知る」「自分の中に未知の視点を取り込む」「(論理だけでは解

た。アートの夢破れた反動もあつたのだろう、白黒も数字で判断するデータ分析に熱中した。それが経営コ

ンサルタントとしての現在地に道をつないだのだから面白い。

この試みが成功すれば、演劇に費やした20代の試行錯誤には意味があつた、となる。だが、演劇の探求に挫折した当時は、ひたすら参った。才能の乏しさを残酷に突きつけられ、再起不能の有様だ。そこで出会ったのが「サイエンス」だった。

た。アートの夢破れた反動もあつたのだろう、白黒も数字で判断するデータ分析に熱中した。それが経営コ

同様に愚かしい。かくして私は、「アート」と「サイエンス」の越境型

を深めるうち、データの限界を感じることも増えた。データに依存することは、勘と経験に依存することと同様に愚かしい。

DXを例にとつたが、これは今や、ほとんどの経営課題に共通する型のような気がする。クライアントから求められるのは「新しさ」と「現実性」を両立した未知の解であり、ドラマである。

新しい価値提案のドラマが期待される。

この試みが成功すれば、演劇に費やした20代の試行錯誤には意味があつた、となる。だが、演劇の探求に挫折した当時は、ひたすら参った。才能の乏しさを残酷に突きつけられ、再起不能の有様だ。そこで出会ったのが「サイエンス」だった。

た。アートの夢破れた反動もあつたのだろう、白黒も数字で判断するデータ分析に熱中した。それが経営コ

同様に愚かしい。かくして私は、「アート」と「サイエンス」の越境型

を深めるうち、データの限界を感じることも増えた。データに依存することは、勘と経験に依存することと同様に愚かしい。

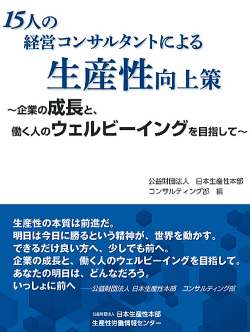
この試みが成功すれば、演劇に費やした20代の試行錯誤には意味があつた、となる。だが、演劇の探求に挫折した当時は、ひたすら参った。才能の乏しさを残酷に突きつけられ、再起不能の有様だ。そこで出会ったのが「サイエンス」だった。

た。アートの夢破れた反動もあつたのだろう、白黒も数字で判断するデータ分析に熱中した。それが経営コ

同様に愚かしい。かくして私は、「アート」と「サイエンス」の越境型

を深めるうち、データの限界を感じることも増えた。データに依存することは、勘と経験に依存することと同様に愚かしい。

DXを例にとつたが、これは今や、ほとんどの経営課題に共通する型のような気がする。クライアントから求められるのは「新しさ」と「現実性」を両立した未知の解であり、ドラマである。



Chapter 7: データドリブンによる経営トランスフォーメーション

データは経営の補助線として有効であり、DXでも付加価値創出の源泉に位置付けられるが、企業による活用水準は二極化の兆しがある。本稿は、データ活用に未成熟な中小企業のためのデータドリブン経営ガイドラインであり、データを通じた中小企業の経営トランスフォーメーションを示したものである。

アートの前では経営のアリゾムの前で非力かもしれない。サイエンスだけでは過去の成功の劣化コピーしか生み出せないかもしれない。アートとサイエンスの組み合わせが重要な